

健康保険の「これまで」と「これから」

講座概要

「いつでも・どこでも・だれでも」必要な治療が受けられる日本の健康保険は「国民皆保険制度」と言われ、世界でも珍しいほど「医療を受ける権利」を平等に保障してくれています。その一方で、健康保険に加入している私たちのほとんどが、制度の仕組みや医療費のやりくりがどうなっているのかわかりません。この講座では、健康保険制度が「国民皆保険制度」になる経緯を簡単に踏まえ、健康保険制度の現状と今後の展望について「お金の話」を中心に、わかりやすく説明します。健康保険制度の「いま」と「これから」を知ること、日本の医療を守るために私たちにできることを考えるきっかけにしていただくと幸いです。

実施責任者：森 禎徳（群馬大学大学院医学系研究科講師）

日程	講義内容	講師
8月5日 (土)	【健康保険の歴史】 富国強兵政策の一つとして生まれた健康保険制度がどのようにして社会保障制度の基盤となったのか、「国民皆保険」とは何か、そして高齢者保険の創設に至る流れについてお話しします。	群馬大学大学院 医学系研究科 医学哲学・倫理学講座 講師 森 禎徳
	【健康保険のこれから】 健康保険制度が現在置かれている厳しい財政状況を踏まえ、「持続可能性」という新しい考えを知ること、私たち一人一人が、制度を支える当事者としてどう行動すべきかを見直すきっかけになるようなお話ができればと思います。	